



ポヌール

# デイケア通信

2024.3

「はいからさんが通る」

春、華やかな卒業袴姿をテレビ等で見かける季節ですね。

そもそも袴スタイルの始まりは明治の中頃。

袴の機能性は、それまでの着物の比ではなく、椅子の生活に適し、

自転車やテニス、ハイキング等、楽しめるようになったのです。

それに伴い髪型も、西洋風にリボンを結ぶボンパドールが普及。

長さは個人の髪質や好みに合わせて自由に。

足元はブーツ、短靴が流行し、ぞうりや下駄も合わせました。

この、

はいからな

スタイル。

単に日本の服飾史の一頁に過ぎないでしうか。

後に全ての人に有用となる「自律」の始まり、と

とらえてみると、さらに興味深いものになりませんか？

自律とは、周囲から決められたままではなく、自分で選ぶ指針を

自分自身の中に得ていて、迷いが生じてても、そこに立ち戻れば

どうすべきか(またはすべきでないか)、の決定ができること。



画: 中原 淳一 JUNICHI NAKAHARA

近年、中高生女子が制服にスポンを選ぶことも普通となり、

明治の袴にみる自律の花芽は、花束となって私たちに届いていますね。

※ちなみに、リハビリに卒業はありません。春以降も、目標を選んでリハしましょう。リハ課より



毎週火曜のお昼は“選べる献立”



生け花レクの様子



二月二十八日

**A** 鶏肉の甘酢あん

**B** 魚のタルタル焼き

・ご飯

・ハムキャベツ炒め

・ブロッコリーあえ物

・厚焼きたまご

・お吸いもの

・マンゴー



# デイと泊まり(ショートステイ)の使い方ご紹介!!

## M様の場合



うちの家内はデイを週4回、たまに週末の泊まりを利用していました。だんだんと私も家内も時間に追われるようになっていたんでしょか。水分も摂っているようで足りなかったのか、家内が弱ってしまって…。ポヌールの人の勧めで、週4日泊まり、1日デイ、のパターンに変えてから、家内が元気になりました。好きだった俳句をまた詠んでみたり、最近は服に関心が強いです。私も自分の通院のとき等、時間を気にせず行動できて助かっています。

## F様の場合

私がデイに来ているときに、夫が緊急入院。息子夫婦は、病院からいつ呼ばれるかわからず、仕事もあります。私はデイからそのまま泊りの階へ。以前に泊ったことがあったから、知っている人に囲まれて、リハビリして、お風呂に入って、和やかに過ごしていたら、だいぶ気がまぎれました。2週間くらい泊まったのかしら？  
夫は無事に退院、通常の日々に戻っています。この先も、ポヌールの泊りがあるから心強い、と息子夫婦も言っていますよ。



## A様の場合



うちの父は、週に5日泊まり、週末は自宅で過ごすパターンです。先日、泊る予定の階で感染症が出て泊まりに行けなくなったときは、ポヌールの人の勧めでデイを利用しました。父は以前デイを利用していたため、ふたつ返事でデイに行きました。私は、障害のある息子の介護と、自宅でパン教室もしています。今回のように泊まりとデイを利用すれば、今後も今の生活を継続できる、と実感できて心底ホッとしました。父や息子と過ごす時間と、パン教室を楽しみにして下さっている生徒さんとの時間、どちらも大切にしていける自信ができました。

「泊まり(ショートステイ)を利用してみようかな」「話だけ聞きたい」等  
お気軽にスタッフまでお声がけください♪ポヌール相談員がご説明いたします。



※泊まりの時もリハビリができる、これは大きな魅力ですね♪